

COPとは？COP基礎講座

気候変動とエネルギー領域
副ディレクター

高橋健太郎

本日のトピック

1 COPの基礎知識とパリ協定のおさらい

2 COPあるある

3 COP26のポイント

導入

COP開催回数

26

※2021年開催を含む

国連気候変動枠組条約（UNFCCC）
締約国（地域含む）

197

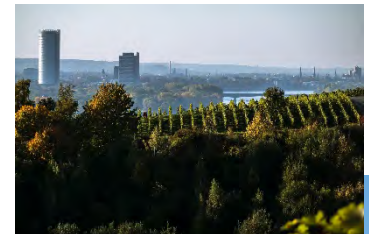
パリ協定で決まった長期目標
（1.5℃に抑える努力を追求する）

1.5

略語

UNFCCC（**U**nited **N**ations **F**ramework **C**onvention on **C**limate **C**hange）（ゆーえぬ・えふ・とりぷるしー）

- 温室効果ガスの濃度を安定化させることを目的とした条約。1992年5月に採択、1994年3月に発効。
- UNFCCCの事務局はドイツ・ボン（ベートベンの出生地）。
- 京都議定書・パリ協定の実施のために必要な業務、意思決定機関であるCOPの運営を担う。



本日のトピック

1 COPの基礎知識とパリ協定のおさらい

2 COPあるある

3 COP26のポイント

COPって？

COP:気候変動枠組条約締約国会議

197 か国・地域

英語略称：Conference of the Parties

- ・ 条約とその他の法的文書の実施を検討し、制度的および行政的取決め等の決定を行う
- ・ 第1回目は1995年3月にドイツ・ボンで開催。

COP3 (1997年)

日本・京都で開催。**京都議定書**を採択。

COP21 (2015年)

フランス・パリで開催。**パリ協定**を採択。

CMP:京都議定書締約国会議

英語略称：Conference of the Parties serving as the meeting of the Parties to the Kyoto Protocol

CMA:パリ協定締約国会議

英語略称：Conference of the Parties serving as the meeting of the Parties to the Paris Agreement

パリ協定のおさらい

- 2015年12月 パリ協定採択（2016年4月に署名式）
- 米国は2016年に離脱表明（トランプ前政権）。バイデン政権により正式に2021年2月復帰。

長期目標として
2°C目標の設定。
1.5°Cに抑える努力
を追求

全ての国が
削減目標（NDC）を
5年ごとに
提出・更新

適応の長期目標の
設定、各国の適応
計画プロセスや
行動の実施

5年ごとに
世界全体としての
実施状況を検討する仕
組み（GST）

先進国の資金提供
に加え、途上国も
自主的に資金を提供

市場メカニズムの
活用
（パリ協定第6条）

注釈：NDC（Nationally Determined Contribution）自国が決定する貢献
GST（Global Stocktake）

NDCの提出・更新

GSTの実施

NDCの提出

GSTの実施

NDCの提出

2021

2023

2025

2028

2030



2015年12月COP21会場にて
深夜まで会場で会議の開始を待機
毎日、PAULを楽しみに

COP26は英国・グラスゴーで開催

5つの地域（アフリカ、アジア太平洋、中・東欧、中南米・カリブ、西欧・その他）で、交代で開催。

COP26は、**はじめてのハイブリッド（対面&オンライン）**で開催



西暦	COP	議長国	開催場所
2023年	COP28	韓国が立候補	韓国が立候補 
2022年	COP27	エジプトが立候補	エジプトが立候補 
2021年	COP26	英国	グラスゴー
2020年	新型コロナウイルス感染拡大のため延期		
2019年	COP25	チリ	マドリード
2018年	COP24	ポーランド	カトビチェ
2017年	COP23	フィジー	ボン
2016年	COP22	モロッコ	マラケシュ
2015年	COP21	フランス	パリ
2014年	COP20	ペルー	リマ
2013年	COP19	ポーランド	ワルシャワ
2012年	COP18	カタール	ドーハ
2011年	COP17	南アフリカ	ダーバン

COP26のスケジュール（10月31日～11月12日）

1週目（10/31-11/6）

開会
プレナリー
(10/31)

世界リーダーズ
サミット
(11/1-2)

バイデン大統領等
首脳級が集結

(新たな目標の発表等)

岸田新総裁初外交？



SBSTA（科学上及び技術上の助言に関する補助機関会合）
SBI（実施に関する補助機関会合）

(11月6日までに専門家でルールや技術的な論点について議論)

下記の3つの議題について、どこまで専門家で交渉を進められるかがポイント。

- ・ パリ協定第6条のルールブック
- ・ 透明性枠組み
- ・ NDCの共通のタイムフレーム

SBSTA議題数

22

SBI議題数

20

2週目（11/8-11/12）

SBSTA/SBI
閉会
プレナリー？
(11/8)

専門家レベルの議論
をどこまで終了
できるか？

ハイレベル
セグメント
(11/9-10)

大臣レベルが集結

(新たな目標の発表等)

閣僚級コンサルテーション

(1週目で決着がつかなかった議題など閣僚級で議論)

- ・ パリ協定第6条のルールブックは、閣僚級プロセスで議論され、確実に2週目も交渉継続。

CMA議題数

20

COP議題数

21

CMP議題数

16

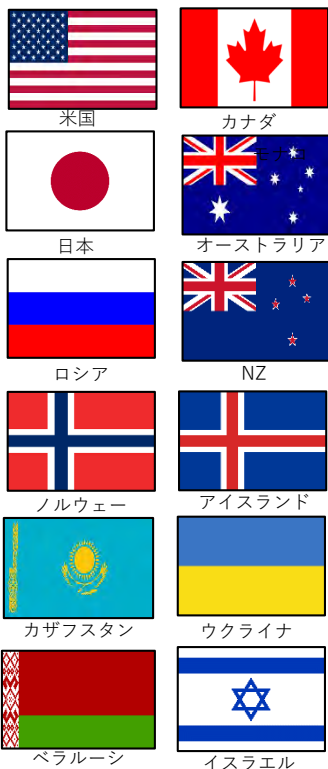


閉会
プレナリー
(11/12)

延長？
(11/13 又は14？)

UNFCCCにおける交渉グループ

UG



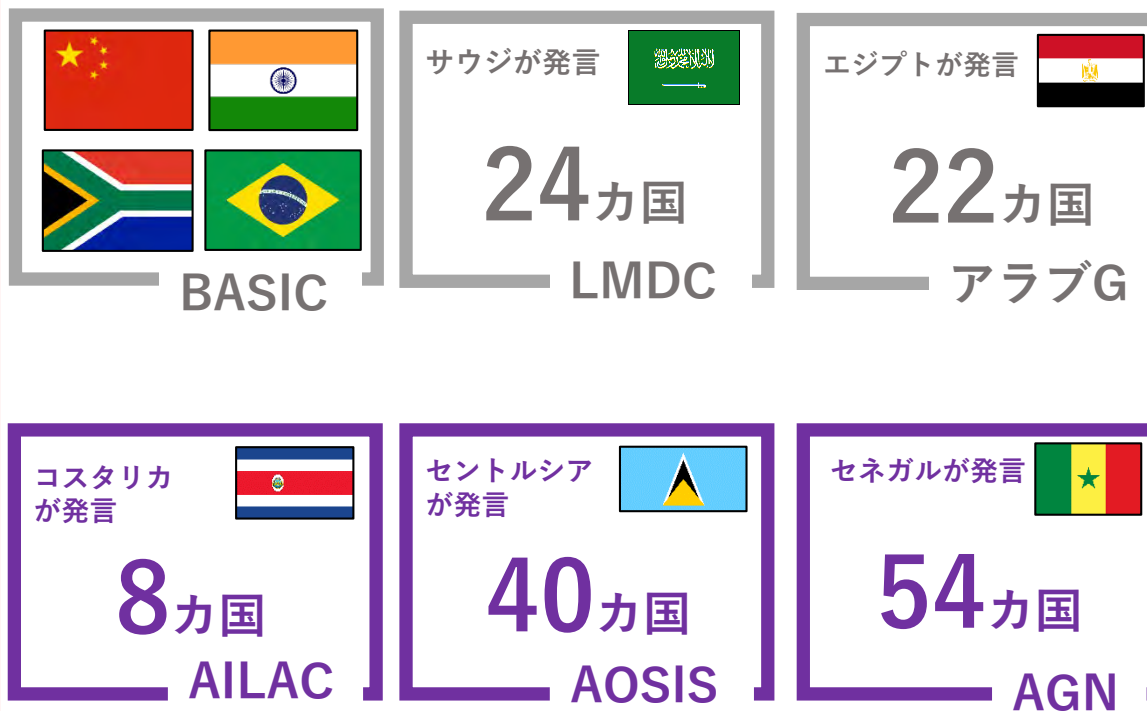
EU



EIG



G77+中国



※交渉グループ略語

- UG：Umbrella Group（アンブレラグループ）
- EIG: Environmental Integrity Group（環境十全性グループ）
- BASIC：ブラジル、南アフリカ、インド、中国の4か国で結成されたグループ
- LMDC：Like-Minded Developing Countries（同志途上国）
- AILAC：ラ米・カリブ海独立連合（チリ、ペルー、コロンビア、コスタリカ等）

- AOSIS：Small Island Developing States (SIDS)（小島嶼国連合）
- LDCs: Least Developed Countries（後発開発途上国）
- AGN：アフリカグループ

その他、OPEC、ALBA、ABU、SIDsなども発言する。

オプションとブラケットの具体例

XI. [Transition from the Kyoto Protocol to Article 6, paragraph 4

A. Transition of Kyoto Protocol activities to Article 6, paragraph 4, activities

95. Project activities and programmes of activities registered under the clean development mechanism under Article 12 of the Kyoto Protocol (CDM) may transition to the mechanism and be registered as Article 6, paragraph 4, activities subject to:
- (a) The provision of approval of such transition to the Supervisory Body by the host Party per decision 3/CMP.1 of the CDM project activity or CDM programme of activities, by no later than [31 December [2023][X date]];
 - (b) The compliance with these rules, modalities and procedures and any further relevant decisions of the CMA and relevant requirements adopted by the Supervisory Body;
96. Where an activity is eligible for transition pursuant to paragraph 95 above:
- (a) [The transition, including the necessary actions by the Supervisory Body, shall have been completed by no later than [31 December [2023][X date]]];
 - (b) [The Supervisory Body shall ensure that small-scale CDM project activities and CDM programme of activities undergo an expedited registration process in accordance with decisions of the Supervisory Body;]
 - (c) [It may continue to apply its current approved CDM methodology until the earlier of the end of its current crediting period or 31 December [2023][X date];]
 - (d) [For CDM project activities and CDM programmes of activities that have transitioned, A6.4ERs may be issued for emission reductions achieved on or after 1 January 2020.]

B. Transition of Kyoto protocol units to the Article 6, paragraph 4, mechanism

Option A

97. CERs shall not be used by any Party towards its NDC.

Option B

98. A CDM host Party shall not use CERs for its own NDC or [first transfer][forward] CERs for use towards its NDC by another participating Party, more than [X] CERs {formula for calculation of a volume limit}.

Option C

99. A Party other than a host Party per decision 3/CMP.1 may use CERs towards its NDC where all of the following conditions are met:
- (a) The CDM project activity or CDM programme of activities was registered on or after [X date];
 - (b) The CERs were issued in respect of emissions reductions or removals achieved prior to or on 31 December 2020;
 - (c) The CERs are used towards the NDC by no later than [31 December 2023];

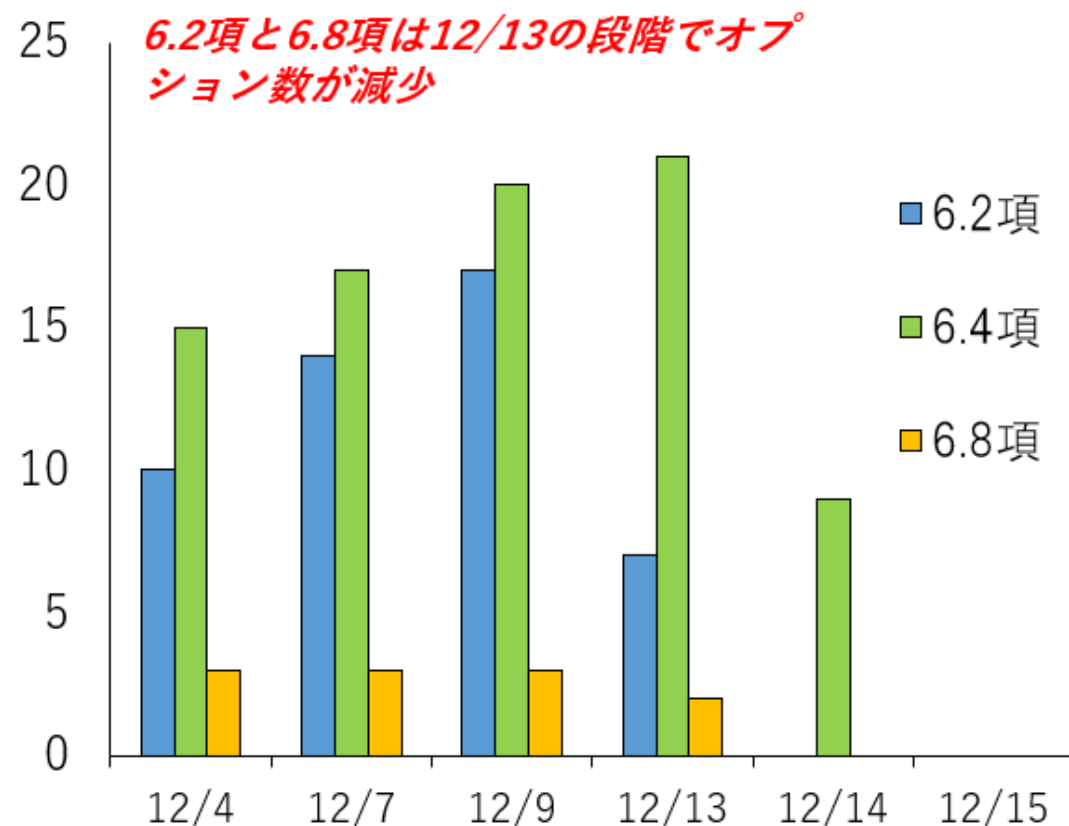
出典：パリ協定第6条4項の交渉テキスト（議長テキスト第2版）
https://unfccc.int/sites/default/files/resource/DT.CMA2_i11b_13Dec.pdf



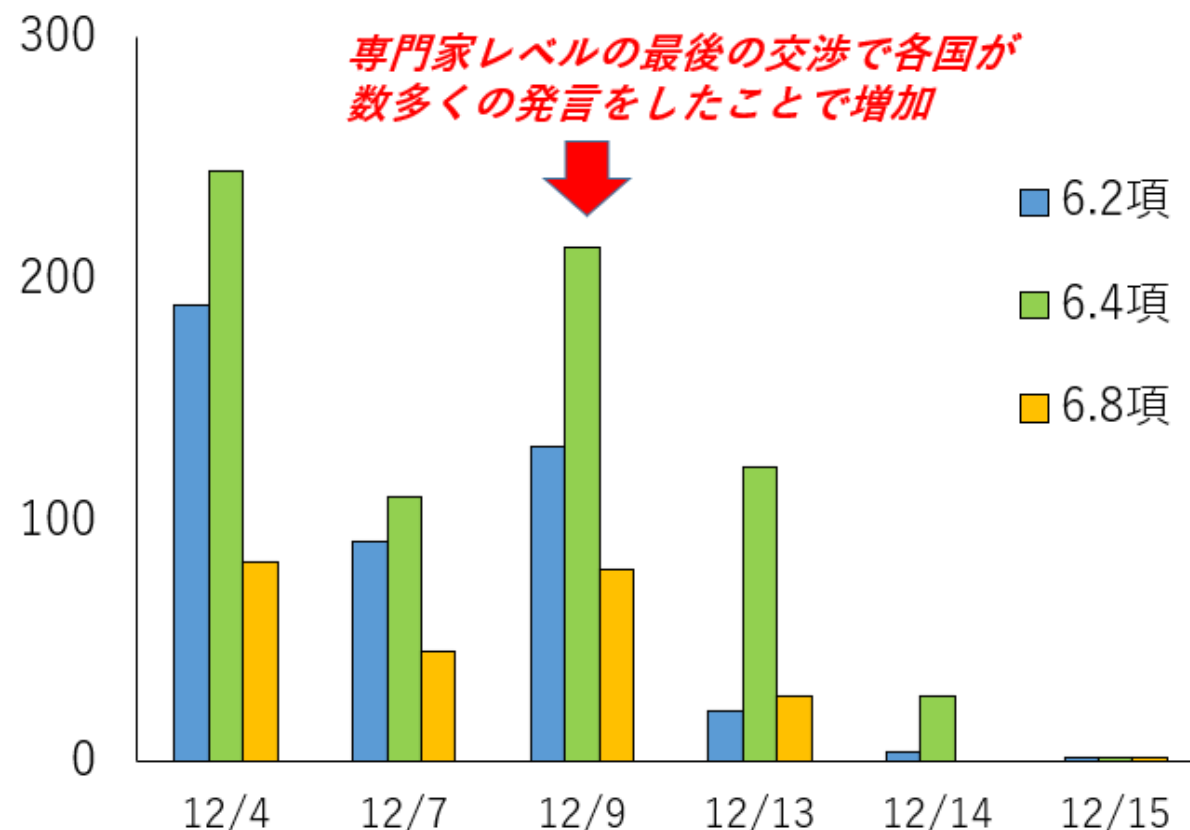
※オプションとブラケット（括弧のこと）は、交渉テキストにおいて各国で合意がとれていない場合に表示されるもの。ハドルで議論することも。

COP25交渉テキストの変化（パリ協定第6条の事例）

交渉テキストのオプション数の増減



交渉テキストのブラケット数の増減



COP参加者の推移

- パリ協定採択以降、オブザーバーの参加者が増加傾向（特に、**非政府主体の参加が増加**）。
 - 政府・国際機関・NGO・市民団体・民間企業・先住民族代表等の幅広いステークホルダーが参加
- 開催国によっては、COP公式会場に入場できない方が参加できるエリアも準備（**COP26はグリーンゾーン**）。
- 気候変動対策が国や企業活動の重要施策となったことから、**首脳級や企業のトップマネジメントの参加も増加**。
- COPという場を活用して、**新たな政策・目標を発表**。



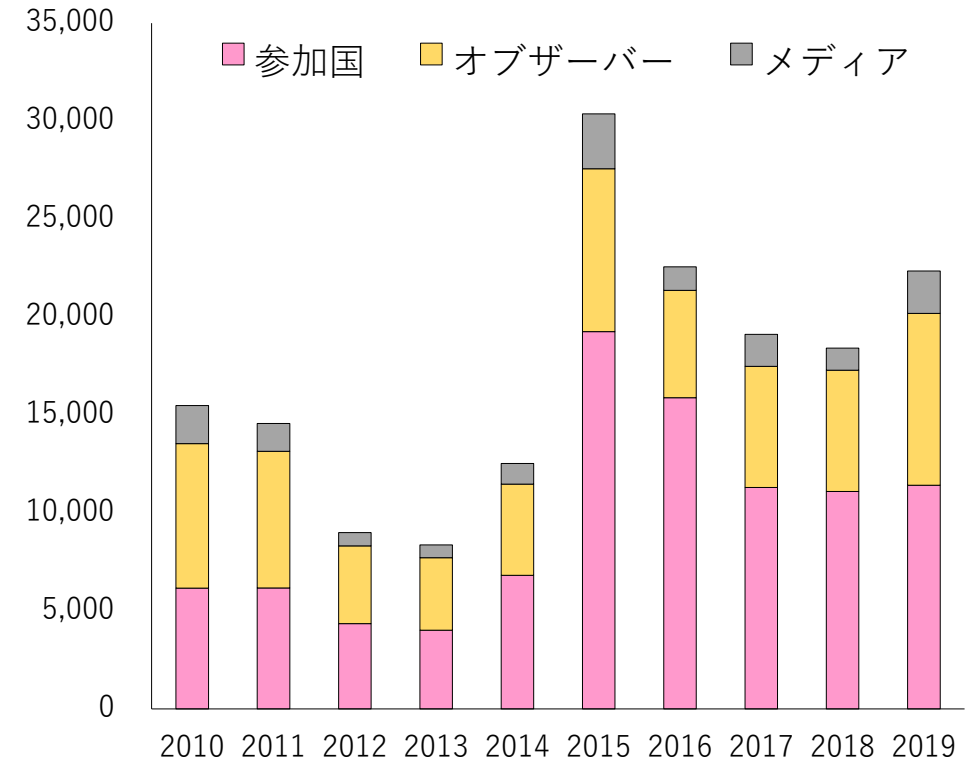
Party バッジ
(国際機関の参加者は青色のバッジ)



NGO バッジ



傍聴者が多いと入室制限がかかることも（COP19）



出典：UNFCCC事務局が発表した参加者リスト情報を基に作成。

- 2021年は新型コロナウイルス感染予防のため、参加制限あり。対面での参加者数は減少の見込み。

(2週間で17,400名のキャパを想定。毎日入場制限が実施される可能性有)

COP会場内で行われていること

気候変動交渉

政府関係者が各議題について各国と交渉し、**全会一致（又はコンセンサス）**を目指す。



サイドイベント

各国やオブザーバー機関が、協力枠組みの発表、活動や研究成果について発表。



UNFCCCとIGESのMOU署名式



出典：https://archive.iges.or.jp/jp/archive/cop/1211_cop18.html

展示ブース・パビリオン

各国・機関がブースやパビリオン設け、ビデオや出版物を通じて、活動を紹介。
COP26はバーチャル展示ブースを実施。



日本パビリオンでの発表の様子



展示ブースでの活動紹介

記者会見

議長国や各国、また、国際機関・NGO等が定期的に交渉状況に関する見解を述べる。



出典：<https://enb.iisd.org/events/chilemadrid-climate-change-conference-december-2019/highlights-and-images-main-proceedings>



会場内の様子



本日のトピック

1 COPの基礎知識とパリ協定のおさらい

2 COPあるある

3 COP26のポイント

COP あるある

飛行機で隣だった人に、
COP会場で再会



顔はめちゃくちゃ覚えている
けど、1年ぶりで名前が…

お互いにバッジをチラ見
して乗り切る



イベントで一緒になった方が、
実はとっても偉い方だった

(名刺交換後、韓国元副首相と判
明したことも…)



モルディブ環境大臣との写真

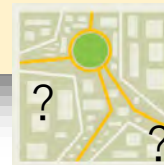
セキュリティレベルが上がった
ときはVIPが会場に到着



写真出典：

<https://www.itv.com/news/2021-08-30/thousands-of-police-to-receive-public-order-training-ahead-of-cop26>
<https://planetradio.co.uk/borders/local/news/dive-marine-officers-patrol-river-clyde-cop26/>

会場へのアクセスに迷っ
たら、バッジを付けてい
る人を探す



ケータリングがあるイベント
は参加者が多い。



会場内のレストランは
13-15時が大混雑

作業スペース行けば
同僚に会える

1日のスケジュール（例：忙しい時）

5:30 起床、メールチェック
Daily Programmeの確認



6:30 朝食



7:30 ホテル出発、移動



8:30 会場到着



9:00 会場内で打ち合わせ



10:00-13:00 会合出席・メモ作成



13:00-14:30 イベントで発表



15:00-18:00 会合出席・メモ作成



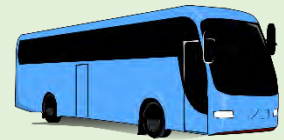
18:00-19:00 会場内で夕食



19:00-22:00 会合出席・メモ作成



22:00 会場出発



23:00 ホテル到着後、メモ報告等



私のCOP必需品は、湯沸かしポット・フリーズドライスープ・柿の種…



COP会場内では、
ボトルを配布



本日のトピック

1 COPの基礎知識とパリ協定のおさらい

2 COPあるある

3 COP26のポイント

COP26までの道のり

2020年12月13日：気候野心サミット閉会挨拶

「私は、気候変動対策の黄金の糸が、来年のすべての国際的な会議（G7・G20等を含む）に織り込まれることを望んでいる。」



アロック・シャルマ
COP26議長
出典：英国政府HP



気候野心
サミット
(12/12)



米国パリ協定
正式復帰
(2/19)



米国主催
気候サミット
(4/22-23)



ペータース
ベルグ気候対話
(5/6-7)



G7気候・環境
大臣会合
(5/20-21)



UNFCCC
補助機関会合
SB2021
(5/31-6/17)



G7 首脳級会合
(6/11-13)



G20エネ・
気候大臣会合
(7/23)



国連総会
(9/14-28)



プレCOP26
Youth Summit
(9/30-10/2)



G20首脳級会合
(10/30-31)



COP26
(10/31-11/12)

▶ “No one left behind”, “Keep momentum”, “Inclusiveness”がキーワード

COP26議長が期待する成果

重要な成果（G7気候・環境大臣会合の成果文書でも強調された点）

- ▶ パリ協定第6条のルール採択（炭素市場に関するルール）
- ▶ 強化された透明性枠組みのための更なる運用指針の採択（報告のルール）
- ▶ NDCの共通の時間枠について合意（2030年以降の目標設定：5年か10年か）

- 1,000億ドルの目標達成は極めて重要であり、気候資金に関するUNFCCCプロセスの進め方について合意
- 1.5°Cの達成を維持するために科学的に必要とされるNDCと排出削減量の間に存在するギャップに対応
- ネット・ゼロへの道を示す長期的な戦略を作成するよう、すべての締約国への期待を強化
- 適応の政治的な優先順位付け（適応に関するグローバル目標（GGA）に向けた進捗を促進する作業の開始）
- 損失と損害に関するサンティアゴ・ネットワークの開発に関する合意
- 気候エンパワーメント、教育、訓練、国民の意識、参加、情報へのアクセスに関する新しい作業計画の合意
- 地域社会と先住民に関する新たな作業計画の合意
- ハイレベル・チャンピオンを中心に、非国家主体との連携を強化したマラケシュ・パートナーシップの改善

出典：https://unfccc.int/sites/default/files/resource/210921_Pre-COP_letter_CPD_final.pdf

COP26での注目ポイント

COP26議長は気温上昇を1.5°Cに抑えるために、6つのポイントを重要視。

石炭の段階的廃止の加速

再生可能エネルギーへの投資奨励

森林破壊の削減

自然保護のための適応

電気自動車への切り替えの加速

気候変動対策への資金

▶ COP交渉議題に石炭・電気自動車・再エネ推進は含まれない。



- ◆ 各国が石炭の段階的廃止を発表？（グテーレス国連事務総長の要請）
（9/21 中国は“海外で新たな石炭火力発電プロジェクトを建設しない”と国連総会で発表）
- ◆ 国際開発金融機関が化石燃料を使用するプロジェクトに対して新たな施策を発表？
- ◆ 企業や地方自治体からも再エネや電気自動車、森林減少対策への投資拡大に関する発表？

若い世代によるアクション

- 9月24日 世界中で気候変動を訴えるアクション「グローバルストライキ」を実施。
- 日本でも各地やオンラインで「世界気候アクション」として若者を中心に実施。
- **#気候危機もう見て見ぬふりはもうできない** と多くの主体的な声上がる。
- 世界共通のハッシュタグ **#UprootTheSystem** = 「システムから再構築しよう」の意。

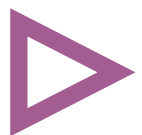
99か国

1,500都市

62万人（独のみ）



出典：<https://www.theguardian.com/artanddesign/gallery/2021/sep/24/fridays-for-future-global-climate-strike-in-pictures>



次回のストライキ：2021年10月22日に実施予定。

<https://fridaysforfuture.org/october22/>

Youth4 Climate

印象的なスピーチ

グretaさんのスピーチ抜粋（2021年9月28日）

“There is no Planet Blah. Blah, blah, blah, blah, blah, blah.”

"This is not about some expensive, politically correct dream at the bunny hugging or blah, blah, blah. Build back better, blah, blah, blah. Green economy, blah, blah, blah,"

“**Net zero by 2050, blah, blah, blah. Climate neutral, blah, blah, blah.**”

“This is all we hear from our so-called leaders –

words that sound great but so far, has led to no action or hopes and dreams. Empty words and promises（聞こえのいい言葉、しかし、これまでのところ、何の行動も起こさず、夢や希望にもつながっていません。空虚な言葉と約束です）.“

“We can no longer let the people in power decide what hope is. Hope is not blah blah blah. Hope is telling the truth. Hope is taking action”

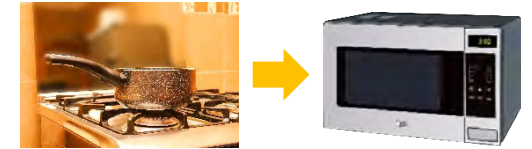
180か国 **400**人の若い世代がプレCOP26にあわせて、ミラノに集結。

▶ COP直前の10月28-30日に第16回UN Conference of Youthを開催

COP26と私たちの生活とのかかわり

1 各国の新たな目標や規制の発表によって消費者が利用するサービスの変化

- (例)
- ・ 再エネ電力への切り替え
 - ・ カーボンニュートラル製品の登場
 - ・ ガスを使用せずにレンジですべて温めるレトルト食品への切替え



2 気候変動分野における就業機会の増加（一方で規制対象業界は人員配置の検討）

- (例)
- ・ 省エネや温室効果ガス削減対策に関するコンサルティングサービス
 - ・ 新たな気候変動サービス・商品の開発



3 持続可能な開発目標（SDGs）に加えて、気候変動に関する教育機会の増加

- (例)
- ・ 小・中学校で専門家による出前授業
 - ・ 子供から親、そして、祖父母へ経験・知見の共有（価値観の変化）



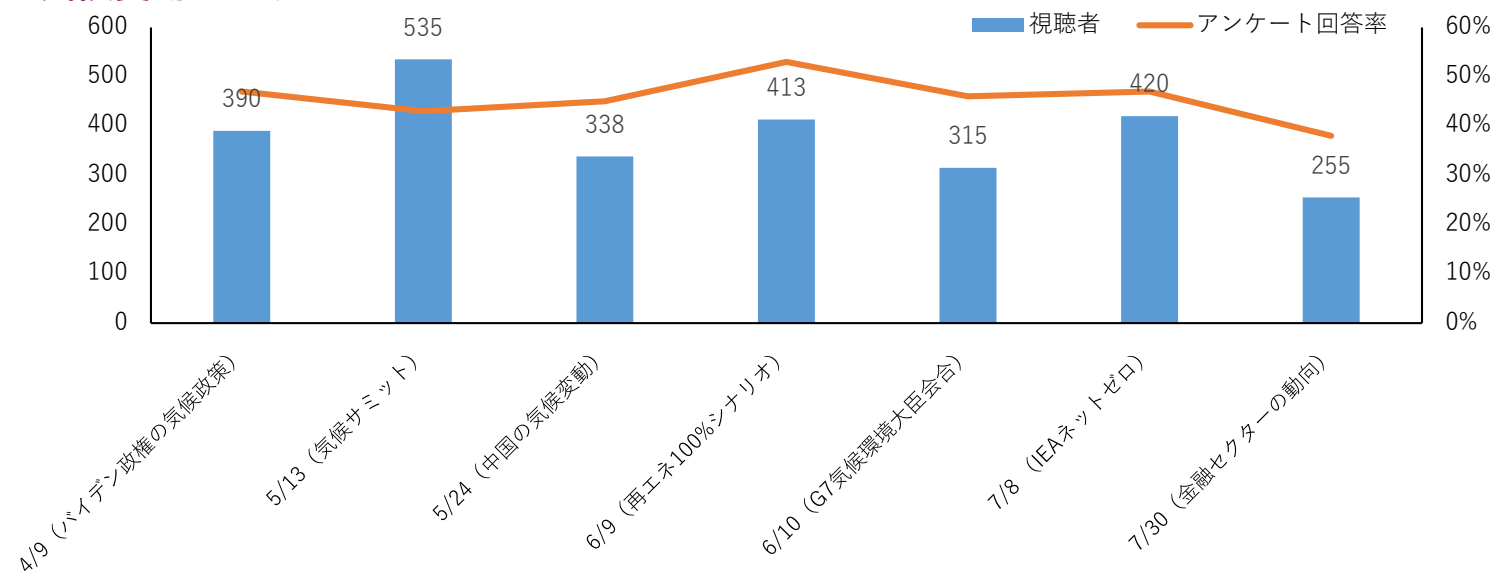
これから2-3年で急速に環境やサービスが変化していく可能性あり。
逆に変化がないということはなにも変わっていないこと。
変化を恐れず、希望をもって行動しましょう！

参考資料

(気候変動・COP26関連情報をもっと知りたい方のために)

IGES気候変動ウェビナーシリーズ

気候変動トラック



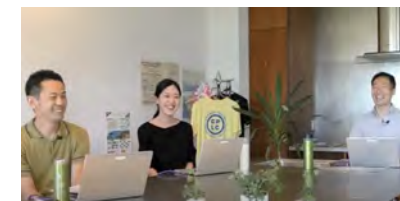
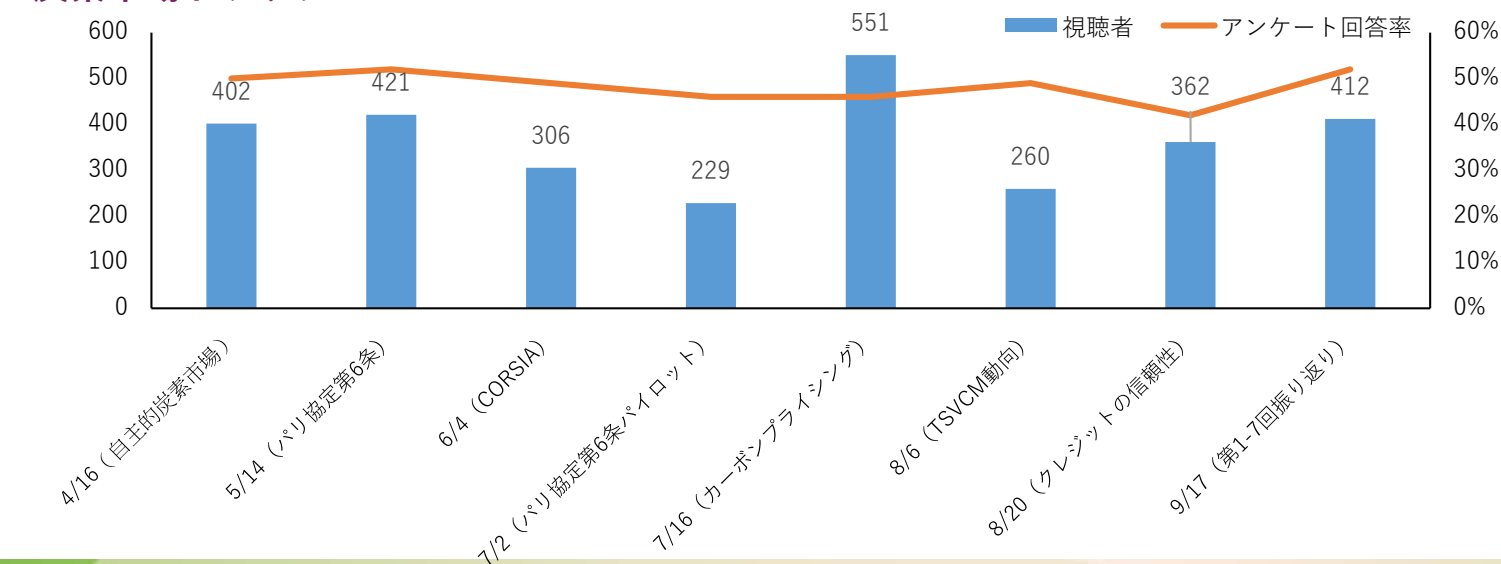
気候変動ウェビナー視聴者（累計）

5,900人以上

御視聴誠にありがとうございます！

貴重なご意見に大変感謝しております。
今後ともご指導お願いいたします。

炭素市場トラック

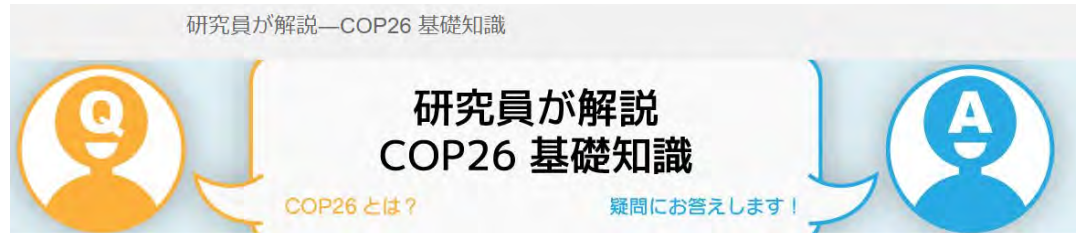


過去の気候変動ウェビナーシリーズはこちらから視聴可能です。

<https://www.iges.or.jp/jp/projects/ce-webinar>

<https://www.youtube.com/c/IGESjapan/featured>

COP26関連情報



2021年10月31日から11月12日にかけて、英国・グラスゴーでCOP26が開催されます。COPとは、国連気候変動枠組条約（UNFCCC）を批准するすべての国（締約国）が参加する会議であり、最高意思決定機関です。今回は26回目の締約国会議なのでCOP26と呼びます。

COP26に向け各国が抱えている温室効果ガスの新たな削減目標を表明するなど、パリ協定の目標達成に向けて世界の動きが加速し、その動向はメディアでも頻りに取り上げられています。COPについて基礎知識や、知っているようで知らない情報、さらにCOPにまつわる豆知識などを集めました。来たるCOP26に備えて押さえておきたいポイントを整理したいという方も、COPについて改めて知りたいという方も、ぜひご活用ください。

📄 もっと詳しく知りたい、という方には、用語集もお勧めします。(PDF 242KB)

ウェブページリンク

<https://www.iges.or.jp/jp/projects/cop26-basic-knowledge>



2021年10月31日から11月12日にかけて、イギリス・グラスゴーにて、国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）が開催されます。このページでは、IGES研究員によるCOP26に関する解説記事や、IGESが出版した関連出版物、COP26開催期間中のサイドイベントの情報などをご紹介します。

COP26期間中のIGESの活動を発信！

ウェブページリンク

<https://www.iges.or.jp/jp/projects/cop26>



IGESツイッターで情報
発信していきます！
@IGES_JP



交渉の状況	関連イベント	関連出版物	研究者の視点	関連映像
-------	--------	-------	--------	------

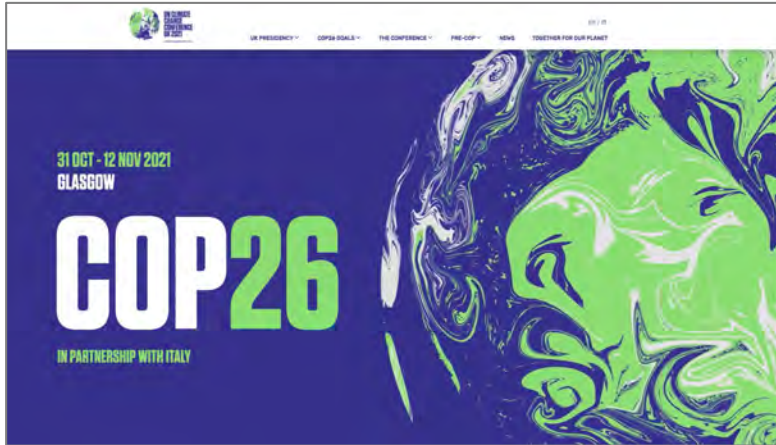
2016年に発効したパリ協定は、様々なルールが各国合意の下で取り決められ、2020年から本格運用が開始されています。そのような中、交渉が継続され、11月開催予定の国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）での合意を目指しているのが、パリ協定ルールブック最後のピース、第6条です。日本国内でも最近話題になる炭素市場やカーボンオフセットは、この第6条と深く関係があります。

このページでは、パリ協定第6条の基本的な解説と交渉における議論、第6条に関連する用語集や情報、IGESの関連出版物を紹介していきます。

ウェブページリンク

<https://www.iges.or.jp/jp/projects/paris-agreement-article-6>

COP26関連の情報



英国政府 COP26ホームページ (<https://ukcop26.org/>)

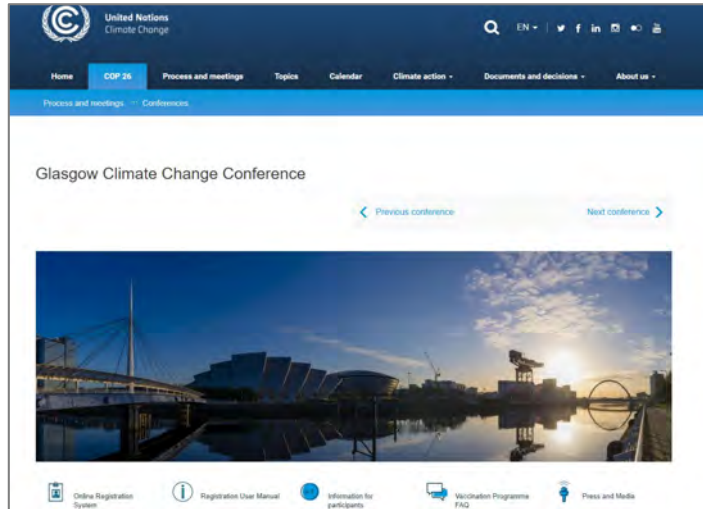
- COP26の基礎情報を発信。ツイッター (@COP26) やインスタグラムでも公式アカウントがあり、フォローしておくで最新情報を入手可。
- COP26議長が発表したプログラム
<https://2nsbq1gn1rl23zol93eyrccj-wpengine.netdna-ssl.com/wp-content/uploads/2021/07/COP26-Presidency-Programme.pdf>
- COP26ニュースレターはこちらから登録可能
<https://ukcop26.us18.list-manage.com/subscribe?u=853349155d1996d23915dd28c&id=d9f0981d61>



英国政府ホームページ
(<https://www.gov.uk/government/topical-events/cop26>)

- 英国政府のCOP26に関する公式発表を速報で知りたい方におススメ。
- アロク・シャルマCOP26議長のツイッターアカウント (@AlokSharma_RDG) のフォローもおススメ！

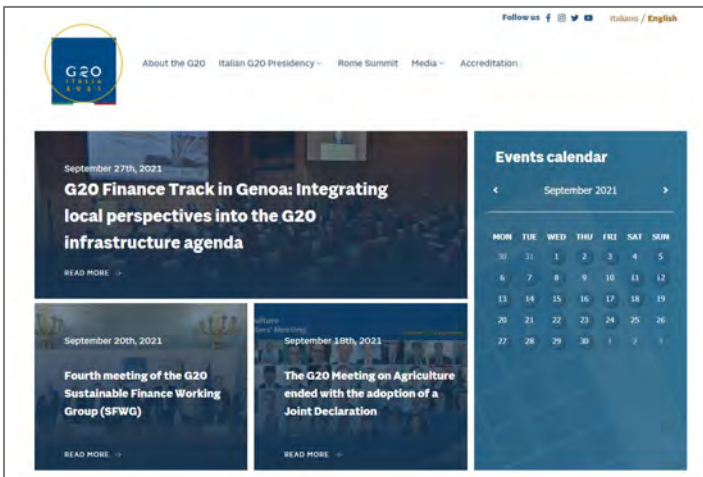
COP26関連の情報



UNFCCC ホームページ (<https://unfccc.int/>)

(<https://unfccc.int/process-and-meetings/conferences/glasgow-climate-change-conference>)

- 国連気候変動枠組条約事務局として、COP26に関する公式情報を発信。
- COP26決定文、交渉テキスト、首脳級・閣僚級が発信するステートメントなどを入手可能。
- **また、開会プレナリーなど公開イベントのオンデマンドにアクセスすることが可能。**
- UNFCCC事務局のツイッターアカウント (@UNFCCC) もぜひフォローを！



G20ホームページ (<https://www.g20.org/>)

- G20首脳級会合や関連会合の声明文を本ホームページで公開。

ご清聴ありがとうございました。

気候変動とエネルギー領域 / 副ディレクター

高橋健太郎

IGES Institute for Global Environmental Strategies
公益財団法人 地球環境戦略研究機関